

無料版

12月号

ユーストカー NEWS

毎月1日発行
第128号 定価 850円 (税込み 935円・送料別途)
本社 東京都新宿区高田馬場3-23-3 ORビル6階
☎03(3371)9340 FAX 03(3371)9596 www.u-car.co.jp
本紙の無断転載・複製を禁じます

購読・広告のお申し込みは
☎03-3371-9340
発行所 (株)ユーストカー (株)ユーストカードットコム

《8~9面》

2023

振り返り

総まとめ スペシャル



2024年の見通し

24~23面
今年の相場動向から来年を予想!

裁判の弁護士費用っていくらなの?

2023年は世界的に大きく荒れた一年だった。22年から続いたロシアウクライナ紛争の泥沼化、さらにイスラエル・パレスチナ紛争が勃発。国内では新型コロナウイルスが5類に移行するなど、枚挙に暇がない。
中古車相場に関しても非常に予測しづらい一年であった。お恥ずかしい話だがユーストカーLINE WSとしても今年の1月号で予想した見通しを急ぎよ撤回し、方向転換した。
為替相場の変動によるメーカーの海外戦略の変化や何といてもコロナ明けの需給の変化、どどもはロシアへの制裁強化と多岐にわたり中古車相場に影響がでる要素がてんご盛りの一年だったといえる。さらに、単純に相場が高い安いではなく、一部車種や年式によりまちまちな値動きがあった。
今号ではそんな荒れた2023年をしっかりと振り返り、中古車相場の大きな変化を読み取り、2024年の相場を判断していくことが大切だ。

《2面へつづく》

業界最多の82会場とリアル接続!

オークション接続 出品台数 年間500万台の全国112会場
共有在庫接続 掲載台数 常時10万台の12市場



iAUC 株式会社 アイオーク 〒102-0075 東京都千代田区三番町8-1
TEL.03-3512-6123

新規会員募集中!
入会資料請求はWEBサイトまたはお電話で受付OK!

<https://www.iauc.co.jp>
またはQRコードからアクセス



2023

株価32年9カ月振り最高値更新、新型コロナ「5類」に移行、阪神タイガース38年振りに日本一

藤井聡太氏が史上初の八冠、大谷選手が日本人初のホームラン王

今年一年振り返り

輸出が相場を左右した2023年11月20日 けん引役は、やはりロシアだった

輸出全般

中古車輸出動向が相場に大きく影響を与えていることは改めて述べるまでもないが、2023年は中古車輸出史上、最も多い140万台規模に達する可能性が高い。

けん引役となっているのがロシアで、1月から9月までの累計輸出台数は対前年同期比29.4%増の17万8707台。2位のアラブ首長国連邦(UAE)を4万台近く引き離した。ロシアは通年でも首位となる可能性が高い。

0台/46.5%増など。上位25カ国のうち、前年同期の実績を下回ったのはマレーシア(2万7499台/8.0%減)とフィリピン(2万5758台/バンクアラブ(1万4341台/42.1%減)の3カ国だけだった。

多くの仕向国で「脱コロナ」が進んだこと、円安、そして自動車専用船の空きスペースは厳しかったものの、コンテナ運賃が下落したことなどが輸出増につながった模様だ。

輸出状況・ロシア

国別ではどうか。中古車輸出で台風の目だったのは今年もロシアだ。ロシアはもともと主要中古車輸出先のひとつだったが、22年2月のウクライナ侵攻の影響で輸出激減し新車不足を追い風に大幅増と、昨年は台数が大きく変化した。今年は年初から22年実績を上回る台数が輸出されていたが、8月に日本政府

が乗用車輸出規制を強化(排気量1900cc超の内燃機関車と電動車の輸出禁止)したことで台数は再び激減と、今年もドラステックに動いた。

その後、9月に入ってから、韓国向け乗用車輸出が急増した。この韓国行きは通関後にロシアへ再輸出されたと観測されているが、コストなどの問題から、この動きは一時的なものようだ。

輸出状況・UAE

10月の貿易統計(速報)によると、ロシア向け輸出は1万3000台規模に回復した。この大半が中古車と見られている。ロシア向けは規制強化後も輸出可能なカテゴリ、つまり排気量1900cc以下の内燃機関車が今後は増えていくことだろう。

輸出状況・NZ

3位のニュージーランド(NZ)は21年7月1日に電気自動車やプラグインハイブリッド車(PHEV)といった低炭素型自動車の購入を補助する制度を導入。22年には炭素排出量の多い車両にはペナルティを課す制度も始まった。以前は日本からの中古車輸入は減少すると予測されていた

将棋の藤井聡太さん史上初の八冠に(10月) 円安進行 1ドル再び150円に(10月)

大谷翔平選手、日本人初の大リーグホームラン王(10月) 34スカイラインGT-R、AA落札価格5264万円(10月)



8月	9月	10月	11月	12月
2日 トヨタ ランドクルーザー250 (発表)	6日 BYD ドルフィン 20日 LEXUS GX(発表) 20日 トヨタ センチュリー(発表)	2日 ホンダ N-BOX 6日 大谷翔平選手、日本人初の大リーグホームラン王 7日 パレスチナ、イスラエルへ大規模攻撃 8日 計報 谷村新司さん 11日 将棋の藤井聡太氏史上初の八冠に 12日 アバルト 500e 12日 " " 日本GDP、4位転落 " " 円安進行、1ドル150円に	25日 SUBARU レヴォーグ レイバック(発表) " " 日本GDP、4位転落 " " 円安進行、1ドル150円に	未定 トヨタ クラウンスポーツ 9日 トヨタ クラウンセダン 13日 LEXUS LBX(発表) 27日 トヨタ クラウンセダン

主な出来事と発売された新車



1年間総まとめ
スペシャル



主要国向け中古車輸出台数の推移 (2022年10月~23年9月)



が、実際には昨年の実績を超えている。今後はロシアへ向けなくなつた電動車のうち、価格が比較的安いものがNZに流れらるだろう。

輸出状況・タンザニア

4位のタンザニアは、2021年までは東アフリカとしてはケニアに次ぐ中古車仕向けだったが、22年にケニアを逆転。今年も9月までの輸出実績はケニアに1万3000台以上の差をつけている。ケニアと違って年式制限がないため乗用車平均価格(FOB価格)は48万5000円(ケニアは106万円)にとどまるが、安定した経済成長に支えられ、輸出は順調に増えている。

かつてはタンザニア向けの大半がイストだったが、最近ではヴァンガードや30系ハリアー、80系シエンタなど、車種のバリエーションは広がっている。

輸出状況・モンゴル

5位のモンゴルについてはロシアと国境を接していることから、8月の規制強化でロシアに行けなくなった車種がモンゴル経由でロシアに流れているのではないかと、との憶測が広がった。だが、編集部調査ではモンゴル経由ロシア行きの実績はつかめていない。確かにモンゴル向けの輸出は増えており、なかでもロシアへ向けなくなったガソリンHVの伸びは顕著(8月6031台、9月6949台)だが、平均単価は60万円近い差があるからだ。

NZと同様に、ロシアへ向けなくなったことで相場が下落したHVがモンゴルに拾われているのではないだろうか。

車種別

あくまでユーザーNEWS編集部独自の調査の結果であり、中古車

大物のフルモデルチェンジが連発した2023年

年明け早々の1月には、新型プリウスがデビュー。デザインを一新し、近代的なスポーツカーの姿へと大変身を遂げた。また、BYDがBEVのATTO3を日本市場へ初めて投入。同社は2025年までには店舗数100以上をめざすという新進気鋭の中国系メーカーだ。

3月には日本でもファンの多いルノーの新型カンゲーが登場。またプリウスのプラグインハイブリッド車が追加、レクサス初のBEVとなるRZも発表となった。4月には新型インプレッサと新型ZR-Vが、5月には新型デリカミニが登場した。

続く6月には新型アルファードと新型ヴェルファイアが登場。発売開始するや否や注文が殺到し、納期は2年待ちという状況に至っている。8月にはランドクルーザー250が突如発表。発売は2024

年以降となるが、こちらも受注殺到は間違いないだろう。

ジャパンモビリティショーを控えた秋は、まず9月に新型センチュリーが登場、10月には新型クラウンセダンと新型クラウンスポーツ、さらには新型レヴォーグレイバック、新型N-BOXなど、名だたる名車の新型が続々と発表となった。11月にはレクサス新型LBXも発表されている。

このように大物のフルモデルチェンジが続いた2023年だったが、国内で勢いのあったメーカーはトヨタとスバルのなど。日産からは新型車の登場はゼロだった。一方で海外メーカーは日本市場へ続々とBEVを投入し、日本国内でのシェア拡大を狙っている。2024年はトヨタ以外の日本メーカーの活躍も期待したい。(自動車ジャーナリスト吉川賢一)

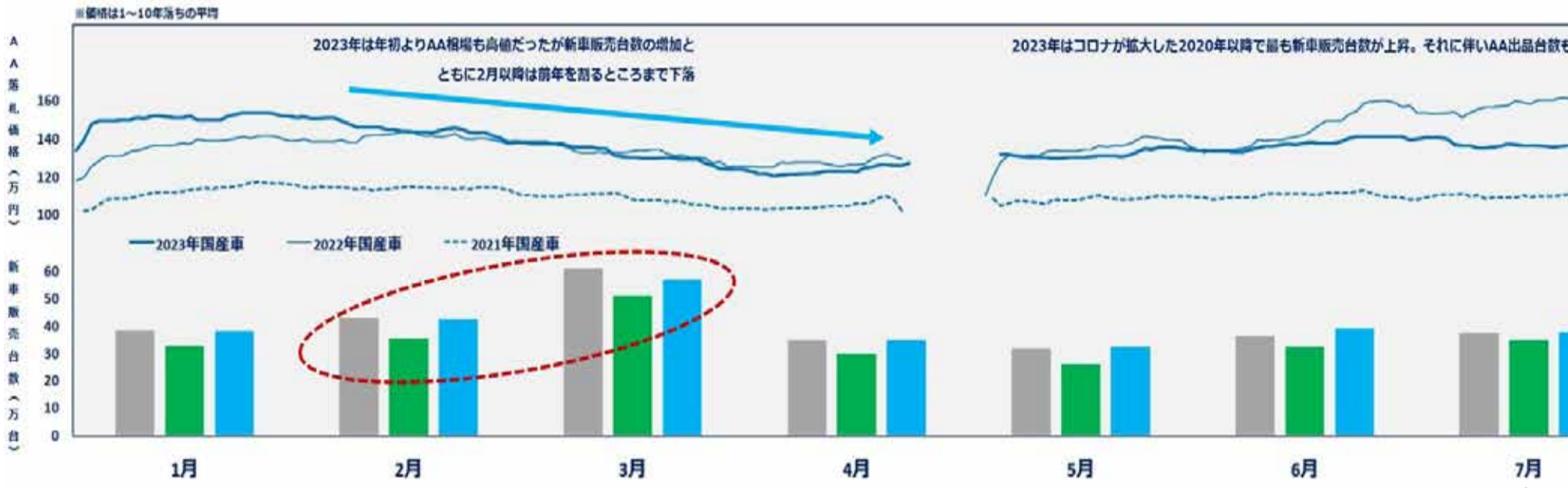
輸出全般の状況を表すものではないが、23年1~9月の国別車名別型式別輸出トップはマレーシア向けのアルファード(A GH30W)。これにフリード(G B3)、ヴィッツ5D(KSP130)、ウィッシュ(ZGE20W)、シエンタ(NSP170G)の各ロシア向けが続いた。マレーシア向けのAGH30Wヴェルファイアは12位。GB3フリード、

KSP130ウィッツ5D、ZGE20Wウィッシュ、NSP170Gシエンタは日本政府の輸出規制には該当しないため、今後もロシアに輸出される見通しだ。

なお、ロシア向けとしては輸出規制に抵触しない小排気量ガソリンの輸入車も輸出が増えている。相場の動向には注意が必要だろう。

ロシアのウクライナ侵攻から1年(2月) **40系アルファード / ヴェルファイア発売(6月)** **日本政府、ロシア向け乗用車輸出規制強化(8月)**

WBCで日本が3大会ぶり世界一(3月) **G7 広島サミット開幕(5月)** **新型アルファードハイブリッド、AA落札価格2578万円(7月)**



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
10日 トヨタ プリウス(ハイブリッドモデル) ①	7日 トルコ・シリア大地震	2日 ルノー カンゲー ⑨	20日 SUBARU インプレッサ ⑫	5日 新型コロナ「5類」に移行	1日 ランドローバー レンジローバースポーツ	1日 プジョー 408 ⑮
11日 BMW XM ②	17日 BMW M2 ⑦	3日 トヨタ プリウス(プラグインモデル) ⑩	21日 ホンダ ZR-V ⑬	6日 マセラティ グレカール	7日 ランドローバー デイフェンダー130マイナナーバードと健康保険証が一体化へ	
18日 BMW M3 ツーリング ③	24日 メルセデス・ベンツ Bクラス ⑧	15日 メルセデス・ベンツ GLC ⑩	21日 SUBARU インプレッサ ⑫	8日 マセラティ グレカール	21日 アウディ A8 60 TFSI e クワトロ	
20日 BMW M3 ツーリング ③	27日 メルセデス・ベンツ Aクラス/Aクラスセダン ⑧	16日 メルセデス・ベンツ GLC ⑩	21日 ホンダ ZR-V ⑬	11日 フィアット ドプロ ⑭	26日 アウディ A8 60 TFSI e クワトロ	
26日 BYD ATTO 3 ⑤	27日 メルセデス・ベンツ Aクラス/Aクラスセダン ⑧	28日 WBCで日本が3大会ぶり世界一	21日 ホンダ ZR-V ⑬	19日 株価32年9カ月ぶり最高値更新		
31日 BYD ATTO 3 ⑤	27日 メルセデス・ベンツ Aクラス/Aクラスセダン ⑧	30日 レクサス RZ ⑪	21日 ホンダ ZR-V ⑬	25日 三菱 デリカミニ ⑮		



今年変動の大きかった個別車種の相場動向

平均価格
台数

※評価点4点以上 走行距離10万キロ以下
2022年11月中旬～2023年11月中旬のAA落札3週間平均でのグラフ

トヨタ アルファード AGH30W S_Cパッケージ



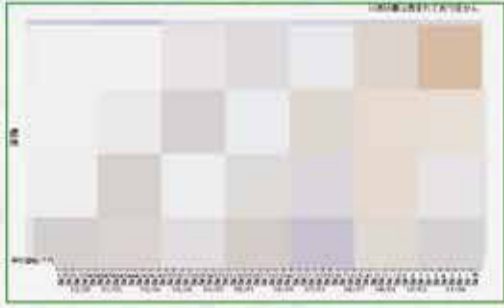
【相場動向】
新型が出てもお高値を維持している。マレーシア向け輸出の好不調が大きく価格に影響を与える。2024年に新型がマレーシアに行くようになる時期からは注意が必要。

トヨタ アルファード AGH40W Z



【相場動向】
新型発売直後、1400万円を超える高値を記録したものの、1ヵ月で急落。9月移行は900万円台をキープ。2024年夏以降マレーシア向け輸出が価格に影響を与えると思われる。

トヨタ ランドクルーザープラド TRJ150W TX_Lパッケージ



【相場動向】
5月頃パキスタンへの輸出が回復傾向となり相場が上昇。ロシア向け輸出の新たな規制の情報が出た夏以降、下落が続いており年末も下落傾向が予測される。

ホンダ CR-V RW2 EXマスターピース

有料版では、モザイクの部分をお読み頂く事ができます。
お申込みは 電話03(3371)9340まで!



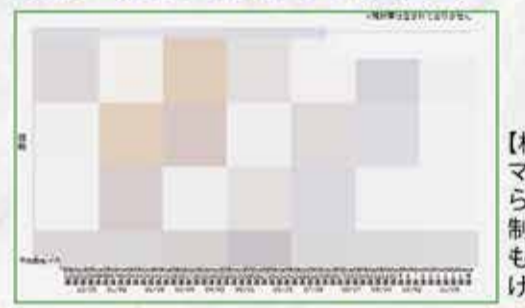
【相場動向】
ロシア向け輸出の新たな規制の情報が出た夏以降、規制対象外だったため急上昇。出品台数こそ少ないが年末も高値を維持している。

トヨタ ハリアー ZSU60W プレミアム



【相場動向】
マレーシア輸出が80系にシフトしたことにより、年始から下落が続いている。ロシア向け輸出の新たな規制対象でもあるため、下落が続いている。

ホンダ ステップワゴンスパーダ RP3 スパーダホンダセンシング



【相場動向】
マレーシア輸出の低調と同時に年初から下降していたが、ロシア向け輸出の規制対象外だったため急上昇。出品台数も多く高値を維持しているが年末に向け若干の落ち着きをみせている。

ダイハツ ミライース LA350S X_SA3



【相場動向】
パキスタン向け輸出復活に伴う相場上昇の代表格。現地の新年度以降も低排気量の関税が低いため、高値を維持。パキスタン向けの輸出が横ばいになり、相場も横ばい。

スバル フォレスター SK9 Xブレイク



【相場動向】
ロシア向け輸出で高値を維持していたが、排気量において新たな規制の対象となり、急降下。規制対象外となったSK5型はこれとは対照に上昇することとなった。

あなたの「したい」にお応えする
中古車取引のwebサービス

いつでもどこでも
TAA/CAA

webサービスでビジネスをサポート

買う 売る 探す 管理する



外出先でも
応札できる

webリアル

常時
掲載台数

約10万台

※ストックワンプライス含む

AA
接続会場数

**業界最大級
全国91会場**

※2023年8月時点

スマホがオークション会場

「TCアプリ」好評配信中!

利用料 **0円** ダウンロードはこちら ストアアプリで検索

アプリの便利な機能 / **プッシュ通知** セリの開始・結果会場からのお知らせをタイムリーにお届け

iPhone Android

ご入会も簡単! 新規入会募集中!

入会金 **10,000円** (税別) 月額費 **3,800円** (税別)~

トヨタ・オート・オークション

北海道会場 0123-28-8700 東北会場 024-963-0388
北関東ヤード 027-257-0613 横浜会場 045-628-6000
近畿会場 072-826-3486 滋賀ヤード 077-507-1159
関西ヤード 089-904-3297 九州会場 0942-41-2266

仙台ヤード 022-390-0125 関東会場 043-246-5211
中部会場 059-366-2810 静岡ヤード 0538-77-2060
兵庫会場 0798-44-3201 広島会場 082-437-2600
南九州会場 0995-54-1511

冠ヶ谷ヤード 0480-77-7391 新潟ヤード 027-205-0370
四国会場 0875-56-2400

株式会社シグマネットワークス

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-9-10 茅場町プロードスクエア 8 階
TEL 03-6757-7800 FAX 03-6757-7801

TC-web
<https://taacaa.jp/>